

## 性能評価用提出図書（別添）作成要領

＜耐火構造＞  
（軒裏用）

### ～作成にあたっての注意事項～

- 1) 本書類は、性能評価用提出図書（別添）です。  
当法人打合せ担当者との打合せの中で試験体仕様の選定を行いますが、その際の資料として、申請される材料を漏れなく記載願います。
- 2) 図書サイズは、特に指定されたもの以外はA4判としてください。
- 3) 様式指定のあるものは、指定どおりの様式を用いてください。
- 4) 原則として文字は全てワープロ打ち（MS明朝体・サイズは10ポイント、数字、単位は半角文字）とし、図面等は鮮明なものとしてください。（ワープロソフトは原則としてMS-WORDを使用してください）

記載例(軒)

(別 添)

1. 構造名  
 ○○板張／木製下地軒裏

打合せ担当者との打合せに基づいて記載入してください。  
 わからない場合は一般名称でも構いませんが、  
 商品名は記入しないでください。

2. 寸法及び形状等

2章～3章に関しては6章と自動リンクしているため、  
 編集作業は不要です。(編集不可のロックをしています。)  
 4章構造説明図以降の作成をお願いいたします。

(寸法単位：mm)

項 目	仕 様
軒の出	○○以上 ○○以下
軒の形状	(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1) 勾配 (2) 水平

3. 材料構成  
 1) 主構成材料

(寸法単位：mm)

項 目	仕 様
1軒天材	○○○○板 ・厚さ ○○以上 ・働き幅 ○○以上 ・模様深さ ○○以下 ・密度 ○○ ・容積欠損率 ○○%以下 ・表面形状 (1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする (1) エンボス (2) 平滑 (3) ○○○○
2野縁	・材質 木 ・種類 (1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする (1) 製材 (2) 集成材 (3) 単板積層材 ・断面寸法 ○○×○○の断面 寸法以上 ・間隔 軒の出方向○○以下

項 目	仕 様						
3吊り木	<p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)なし</p> <p>(2)あり(軒の出が〇〇を超える場合、又は必要に応じて取付ける場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材質 <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 〇〇</li> <li>2) 〇〇</li> <li>3) 〇〇</li> </ul> </li> <li>・断面寸法 〇〇×〇〇の断面寸法以上</li> <li>・間隔 軒の幅方向〇〇以下</li> </ul>						
4換気スリット	<p>[1]本体</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材質</li> </ul> <p>(1)～(4)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) 塗装溶融亜鉛-6%アルミニウム-3%マグネシウム合金めっき鋼板</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・規格 JIS G 3141</li> <li>・厚さ 〇〇以上</li> </ul> <p>(2) 溶融亜鉛-6%アルミニウム-3%マグネシウム合金めっき鋼板</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・規格 JIS G 3141</li> <li>・厚さ 〇〇以上</li> </ul> <p>(3) 塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・規格 JIS G 3312</li> <li>・厚さ 〇〇以上</li> </ul> <p>(4) フェライト系ステンレス鋼</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・規格 JIS G 3312</li> <li>・厚さ 〇〇以上</li> </ul> <p>[2]塗装</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材質</li> </ul> <p>(1)～(4)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) 〇〇〇〇系樹脂</p> <p>(2) 〇〇〇〇系樹脂</p> <p>(3) 〇〇〇〇系樹脂</p> <p>(4) 〇〇〇〇系樹脂</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・塗布量 〇〇g/m<sup>2</sup>以下</li> </ul> <p>[3]加熱発泡材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材質 〇〇〇〇系加熱発泡材</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・組成(質量%) <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>〇〇〇〇</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>〇〇〇〇</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>〇〇〇〇</td> <td>20</td> </tr> </table> </li> <li>・寸法 厚さ〇〇以上×幅〇〇以上</li> </ul>	〇〇〇〇	50	〇〇〇〇	30	〇〇〇〇	20
〇〇〇〇	50						
〇〇〇〇	30						
〇〇〇〇	20						
5〇〇〇	認定仕様を記入してください						

(寸法単位 : mm)

項 目	仕 様
6〇〇〇	認定仕様を記入してください
7〇〇〇	認定仕様を記入してください
8〇〇〇	認定仕様を記入してください
9〇〇〇	認定仕様を記入してください
10〇〇〇	認定仕様を記入してください

2) 副構成材料

(寸法単位：mm)

項 目	仕 様
①くぎ・ねじ	<p>[1]軒天材留付け用                      (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする                      (1)くぎ                      ・寸法 φ○○以上×L○○以上                      ・間隔 軒の幅方向○○以下                      ・材質 ○○○○                      (2)ねじ                      ・寸法 φ○○以上×L○○以上                      ・間隔 軒の幅方向○○以下                      ・材質 ○○○○</p> <p>[2]換気スリット留付け用                      ねじ                      ・寸法 φ○○以上×L○○以上                      ・間隔 軒の幅方向○○以下                      ・材質 ○○○○</p> <p>[3]野縁留付け用(野縁を使用する場合)                      (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする                      (1)くぎ                      ・寸法 φ○○以上×L○○以上                      ・間隔 軒の幅方向○○以下                      ・材質 ○○○○                      (2)ねじ                      ・寸法 φ○○以上×L○○以上                      ・間隔 軒の幅方向○○以下                      ・材質 ○○○○</p> <p>[4]吊り木留付け用(吊り木を使用する場合)                      (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする                      (1)くぎ                      ・寸法 φ○○以上×L○○以上                      ・間隔 軒の幅方向○○以下                      ・材質 ○○○○                      (2)ねじ                      ・寸法 φ○○以上×L○○以上                      ・間隔 軒の幅方向○○以下                      ・材質 ○○○○</p>
②○○○	認定仕様を記入してください
③○○○	認定仕様を記入してください

(寸法単位：mm)

項 目	仕 様
④〇〇〇	認定仕様を記入してください
⑤〇〇〇	認定仕様を記入してください
⑥〇〇〇	認定仕様を記入してください
⑦〇〇〇	認定仕様を記入してください
⑧〇〇〇	認定仕様を記入してください
⑨〇〇〇	認定仕様を記入してください
⑩〇〇〇	認定仕様を記入してください

#### 4. 構造説明図

(寸法単位：mm)

断面図（勾配軒仕様）

軒の出が〇〇以上〇〇以下の場合

勾配軒の断面図や透視図を添付してください。  
部材名は評価図書の商品名と一致させてください。

注) 寸法および材料構成は2および3とおり

\*：本評価内容に含まない

(寸法単位：mm)

断面図（水平軒仕様）

軒の出が〇〇以上〇〇以下の場合

水平軒の断面図や透視図を添付してください。  
部材名は評価図書の項目名と一致させてください。

注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

\*：本評価内容に含まない



換気スリット形状図

スリットの形状図を添付してください。

注) 寸法および材料構成は2および3のとおり  
\*：本評価内容に含まない

## 5. 施工方法等

〈施工図〉

### 4. 構造説明図と同じ

〈施工手順〉

#### 1) 鼻隠し下地の取り付け

- ・鼻隠し下地は垂木に固定する。

#### 2) 野縁の取付け

- ・野縁は垂木、外壁、壁躯体又は垂木に取付けした吊り木に固定する。
- ・軒の出が 500mm を超える場合は軒の出方向の中間部に野縁を配置し、取付間隔が 500mm 以下になるようにする。

#### 3) 換気スリットの取付け

- ・換気スリットは、外壁、壁躯体等へでねじで取付ける。
- ・換気スリットは、連続して使用する場合は突き付けとし、突き付け部に必要に応じて接合部材を使用する。
- ・防火上有効な発泡材（ありの場合）は、原則として工場で取り付ける。
- ・必要に応じて換気スリット裏面に断熱材を取り付ける。

#### 4) 軒天材の取付け

- ・軒天材は、一方を換気スリットに差し込み、もう一方は鼻隠し下地へくぎ又はねじで留付けする。中間部に留付けが必要な場合は、くぎ又はねじを用い野縁又は受材へ留付けする。
- ・軒天材目地は合じゃくり、突き付け、金属ジョイナーとする。

申請される構造の施工手順を記載して下さい。  
また、寸法等は極力記載しないで下さい。

## 性能評価用提出図書（別紙） 作成のお願い

＜耐火構造＞  
（軒裏用）

### ～作成にあたっての注意事項～

- 1) 本書類は、性能評価用提出図書（別添）の試験体の選定理由部分です。  
評価作業を効率よく実施するため、性能評価用提出図書（別紙）作成をお願いしています。当法人  
打合せ担当者との事前打合せ内容に基づいて記入してください。
- 2) 図書サイズは、特に指定されたもの以外はA4判としてください。
- 3) 様式指定のあるものは、指定どおりの様式を用いてください。
- 4) 原則として文字は全てワープロ打ち（MS明朝体・サイズは10.0ポイント、数字、単位は半角文字）  
とし、図面等は鮮明なものとしてください。（ワープロソフトは原則としてMS-WORDを使用し  
てください）
- 5) 大臣認定に係る性能評価は、申請構造の仕様に対する評価であるため、「商品名」は記載しないでく  
ださい。

6. 評価方法  
6-1. 試験体の選定  
1. 寸法および形状等

申請される構造の仕様を仕様欄に全て記載してください。

打合せ担当者との事前打合せ内容に基づいて記入して下さい。

(寸法単位：mm)

項目	試験体の構造	仕様	試験体の選定理由
軒の出	〇〇	〇〇以上 〇〇以下	遮熱性上不利となる最小 (なお、吊り木なしの軒の出最大(〇〇mm)についても別途性能を確認している)
軒の形状	勾配	(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1)勾配 (2)水平	遮熱性上不利となる(1)

試験体に選定された構造を記載してください。  
数値は全て確定値(以上、以下、±等の表記は不可)で記載して下さい。  
また、別途作成いただく製作チェックリストはこの欄をそのままコピーして作成願います。

使用される軒天材の情報を記載して下さい。  
(板の名称、厚さ、幅、密度等)

2. 材料構成  
1) 主構成材料

(寸法単位：mm)

項目	試験体の構造	仕様	試験体の選定理由
1 軒天材	〇〇〇〇板 ・厚さ 〇〇 ・働き幅 〇〇 ・模様深さ 〇〇 ・密度 〇〇 ・容積欠損率 〇〇% ・表面形状	〇〇〇〇板 ・厚さ 〇〇以上 ・働き幅 〇〇以上 ・模様深さ 〇〇以下 ・密度 〇〇 ・容積欠損率 〇〇%以下 ・表面形状 (1)~(3)のうち、いずれか一仕様とする (1)エンボス (2)平滑 (3) 〇〇〇〇	・厚さ、働き幅、模様深さ 遮熱性上不利となる最小 ・仕様と同じ ・遮熱性上不利となる最大 ・遮熱性上不利となる(1)
2 野縁	・材質 木(スギ) ・種類 製材 ・断面形状 〇〇×〇〇 ・間隔 〇〇	・材質 木 ・種類 (1)~(3)のうち、いずれか一仕様とする (1)製材 (2)集成材 (3)単板積層材 ・断面寸法 〇〇×〇〇の断面寸法以上 ・間隔 軒の出方向〇〇以下	・材質、種類 仕様と同じ ・遮炎性上不利となる最小 ・遮炎性上不利となる最大

主構成材料の部材名の頭文字は□と項目順番号を記入してください。

仕様が複数存在する場合、「(\*)~(\*)のうち、いずれか一仕様とする」と記載して下さい。

項目	試験体の構造	仕様	試験体の選定理由																		
3 吊り木	なし	(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1)なし (2)あり(軒の出が〇〇を超える場合、又は必要に応じて取付ける場合) ・材質 1) 〇〇 2) 〇〇 3) 〇〇 ・断面寸法 〇〇×〇〇の断面寸法以上 ・間隔 軒の幅方向〇〇以下	遮熱性上不利となる(1)																		
4 換気スリット	[1]本体 ・材質  塗装溶融亜鉛-6%アルミニウム-3%マグネシウム合金めっき鋼板 ・規格 JIS G 3141  ・厚さ 〇〇  [2]塗装 ・材質  〇〇〇〇系樹脂  ・塗布量 〇〇g/m <sup>2</sup>  [3]加熱発泡材 ・材質 〇〇〇〇系加熱発泡材 ・組成(質量%) <table style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>{</td><td>〇〇〇〇</td><td>50</td></tr> <tr><td>{</td><td>〇〇〇〇</td><td>30</td></tr> <tr><td>{</td><td>〇〇〇〇</td><td>20</td></tr> </table> ・寸法 厚さ〇〇×幅〇〇	{	〇〇〇〇	50	{	〇〇〇〇	30	{	〇〇〇〇	20	[1]本体 ・材質 (1)~(4)のうち、いずれか一仕様とする (1)塗装溶融亜鉛-6%アルミニウム-3%マグネシウム合金めっき鋼板 ・規格 JIS G 3141 ・厚さ 〇〇以上 (2)溶融亜鉛-6%アルミニウム-3%マグネシウム合金めっき鋼板 ・規格 JIS G 3141 ・厚さ 〇〇以上 (3)塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯 ・規格 JIS G 3312 ・厚さ 〇〇以上 (4)フェライト系ステンレス鋼 ・規格 JIS G 3312 ・厚さ 〇〇以上  [2]塗装 ・材質 (1)~(4)のうち、いずれか一仕様とする (1)〇〇〇〇系樹脂 (2)〇〇〇〇系樹脂 (3)〇〇〇〇系樹脂 (4)〇〇〇〇系樹脂 ・塗布量 〇〇g/m <sup>2</sup> 以下  [3]加熱発泡材 ・材質 〇〇〇〇系加熱発泡材 ・組成(質量%) <table style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>{</td><td>〇〇〇〇</td><td>50</td></tr> <tr><td>{</td><td>〇〇〇〇</td><td>30</td></tr> <tr><td>{</td><td>〇〇〇〇</td><td>20</td></tr> </table> ・寸法 厚さ〇〇以上×幅〇〇以上	{	〇〇〇〇	50	{	〇〇〇〇	30	{	〇〇〇〇	20	[1] ・遮熱性上同等の為、一般的な(1)  ・仕様と同じ ・遮熱性上不利となる最小  [2] ・塗布量が多く遮熱性上不利となる(1)  ・遮熱性上不利となる最大  [3] ・材質、組成仕様と同じ  ・遮熱性上不利となる最小
{	〇〇〇〇	50																			
{	〇〇〇〇	30																			
{	〇〇〇〇	20																			
{	〇〇〇〇	50																			
{	〇〇〇〇	30																			
{	〇〇〇〇	20																			

(寸法単位：mm)

項 目	試験体の構造	仕 様	試験体の選定理由
5〇〇〇	試験体の構造を記入してください。	認定仕様を記入してください	試験体選定理由を記入してください
6〇〇〇	試験体の構造を記入してください。	認定仕様を記入してください	試験体選定理由を記入してください
7〇〇〇	試験体の構造を記入してください。	認定仕様を記入してください	試験体選定理由を記入してください
8〇〇〇	試験体の構造を記入してください。	認定仕様を記入してください	試験体選定理由を記入してください
9〇〇〇	試験体の構造を記入してください。	認定仕様を記入してください	試験体選定理由を記入してください
10〇〇〇	試験体の構造を記入してください。	認定仕様を記入してください	試験体選定理由を記入してください

2) 副構成材料

留付材などの副構成材料を記載してください。

(寸法単位：mm)

項目	試験体の構造	仕様	試験体の選定理由
①くぎ・ねじ	<p>[1]軒天材留付け用</p> <p>くぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寸法 <math>\phi</math>○○×L○○</li> <li>・間隔 軒の幅方向○○</li> <li>・材質 ○○○○</li> </ul> <p>[2]換気スリット留付け用</p> <p>ねじ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寸法 <math>\phi</math>○○×L○○</li> <li>・間隔 軒の幅方向○○</li> <li>・材質 ○○○○</li> </ul> <p>[3]野縁留付け用（野縁を使用する場合）</p> <p>なし</p> <p>[4]吊り木留付け用（吊り木を使用する場合）</p> <p>なし</p>	<p>[1]軒天材留付け用</p> <p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)くぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寸法 <math>\phi</math>○○以上×L○○以上</li> <li>・間隔 軒の幅方向○○以下</li> <li>・材質 ○○○○</li> </ul> <p>(2)ねじ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寸法 <math>\phi</math>○○以上×L○○以上</li> <li>・間隔 軒の幅方向○○以下</li> <li>・材質 ○○○○</li> </ul> <p>[2]換気スリット留付け用</p> <p>ねじ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寸法 <math>\phi</math>○○以上×L○○以上</li> <li>・間隔 軒の幅方向○○以下</li> <li>・材質 ○○○○</li> </ul> <p>[3]野縁留付け用（野縁を使用する場合）</p> <p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)くぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寸法 <math>\phi</math>○○以上×L○○以上</li> <li>・間隔 軒の幅方向○○以下</li> <li>・材質 ○○○○</li> </ul> <p>(2)ねじ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寸法 <math>\phi</math>○○以上×L○○以上</li> <li>・間隔 軒の幅方向○○以下</li> <li>・材質 ○○○○</li> </ul> <p>[4]吊り木留付け用（吊り木を使用する場合）</p> <p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)くぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寸法 <math>\phi</math>○○以上×L○○以上</li> <li>・間隔 軒の幅方向○○以下</li> <li>・材質 ○○○○</li> </ul> <p>(2)ねじ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寸法 <math>\phi</math>○○以上×L○○以上</li> <li>・間隔 軒の幅方向○○以下</li> <li>・材質 ○○○○</li> </ul>	<p>[1]遮熱性上不利となる(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遮熱性上不利となる最小</li> <li>・遮熱性上不利となる最大仕様と同じ</li> </ul> <p>[2]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遮熱性上不利となる最小</li> <li>・遮熱性上不利となる最大</li> <li>・仕様と同じ</li> </ul> <p>[3]野縁を使用しないためなし</p> <p>[4]吊り木を使用しないためなし</p>
②○○○	試験体の構造を記入してください。	認定仕様を記入してください	試験体選定理由を記入してください

副構成材料の部材名の頭文字は○で記入してください。

留付け材は使用箇所ごとに、材質、寸法、間隔を記載してください。

(寸法単位：mm)

項 目	試験体の構造	仕 様	試験体の選定理由
③〇〇〇	試験体の構造を記入してください。	認定仕様を記入してください	試験体選定理由を記入してください
④〇〇〇	試験体の構造を記入してください。	認定仕様を記入してください	試験体選定理由を記入してください
⑤〇〇〇	試験体の構造を記入してください。	認定仕様を記入してください	試験体選定理由を記入してください
⑥〇〇〇	試験体の構造を記入してください。	認定仕様を記入してください	試験体選定理由を記入してください
⑦〇〇〇	試験体の構造を記入してください。	認定仕様を記入してください	試験体選定理由を記入してください
⑧〇〇〇	試験体の構造を記入してください。	認定仕様を記入してください	試験体選定理由を記入してください
⑨〇〇〇	試験体の構造を記入してください。	認定仕様を記入してください	試験体選定理由を記入してください
⑩〇〇〇	試験体の構造を記入してください。	認定仕様を記入してください	試験体選定理由を記入してください



#### 6-2. 試験方法

試験は、6-1 に示した試験体について、「方法書」 「4.2 準耐火性能試験方法」に基づき 30 分準耐火性能試験を実施した。

#### 6-3. 試験の結果

[準耐火性能試験] (加熱 30 分)

- (1) 標準板の裏面温度上昇が、加熱中、平均で 140K 以下、最高で 180K 以下であった。
- (2) 標準板の非加熱側へ 10 秒を超えて継続する火炎の噴出がなかった。
- (3) 標準板の非加熱面で 10 秒を超えて継続する発炎がなかった。
- (4) 標準板に火炎が通る亀裂等の損傷を生じなかった。

#### 6-4. 評価の結果

本性能評価の仕様は、方法書に基づき管理値を考慮した上で評価した。

#### 7. 申請者連絡先

会社名：  
所在地：  
電 話：

**連絡先を記載して下さい。**